



明治時代の学習（日清・日露戦争）

(1) 本時のねらい

与野出身の一兵士であった、石川さんの日記から日露戦争のあらましを理解し、戦争の背景、その後に及ぼした影響など、日露戦争の位置付けを国際関係の中で考える。

私達の住んでいる地域にも日清・日露戦争の碑が多数存在することを知らしめることで、戦争を身近なものとして考えさせ、当時の人々の様々な想いを理解する。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	指導上の留意点 評価	資料
導入	<ul style="list-style-type: none"> 中央区内にある、鈴谷天神社の「凱旋記念碑」から、「この碑は何を記念して建てたものか？」予想し、発表する。→ 日露戦争 前時に学習した日清戦争からの流れを教師からの発問に答える形で復習をする。 さいたま市と日清戦争との関わりを、映像を通して復習する。→ 下落合笠間氷川神社 「日清戦争紀功奉納石灯籠」など 本時のテーマに対し、「日露戦争はどんな戦争か」今までに知っていることをノートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央区にも日露戦争と密に関わるものがあることを知らせ、学習への動機づけとする。 満州、朝鮮をめぐって、ロシアとの対立があり、それをめぐる世界各国の思惑があったことを理解させる。 生徒の今持っている知識を把握し、知的好奇心をくすぐる授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【映像】日露戦争碑 日清戦争碑 【地図】さいたま市
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>『日露戦争はどんな戦争だったのか？』 ~ 原因・結果の考察とともに、与野の一兵士の日記から読み取っていきましょう！ ~</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 日露戦争の原因を教科書・資料集をもとに調べる。 与野の兵士「石川久兵衛」の日記を読み、一兵士から見た日露戦争を探る。 朝鮮、中国の地図を見ながら、出てくる地名をチェックし、重要だと思った箇所に線を引ながら戦争をおっていく。 日記を読み、以下のことをノートにまとめる。 <戦争の経過> 印象に残ったことを書く。日露戦争の経過をまとめる。石川さんは、どんな思いで戦争を戦っていたのか。石川さんの立場に立って考える。 ～ の考えについて発表する。 資料をもとに、石川さんを送り出した与野の人々の様子を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 日記は長いので、ポイントを押さえ提示する。 「石川久兵衛」の日記をじっくりと読み込み、日露戦争の様子を的確に捉えさせる。 の「石川さんの思い」に時間をかけ、じっくりと考えさせる。 戦争の経過の中で、旅順の戦い、日本海海戦の様子にふれ、日本軍は多大な犠牲を払いながらも、局地戦で勝利していったことを学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書資料集 石川久兵衛日記 日露戦争地図

<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書・資料集を使い、日清戦争との動員兵士の数、戦費、戦死者の数など比較し、日露戦争の規模を知り、国民生活への影響を考える。 戦争の結果を教科書・資料集を使いノートにまとめ、国内外の状況を考えていく。 国内...なぜ、日比谷焼き討ち事件が起こったのか？ 国外...朝鮮、満州に対しどんな行動を起こすのか？ 日露戦争関連の映像を見て補足する。 映像から、与野公園の碑など、さいたま市の各地に日露戦争に関する碑があることに気付き、さいたま市の人々と日露戦争との関わりの深さを、改めて感じる。 本時の授業のテーマに対する答えを、自分の言葉でノートに書き、発表する。 日露戦争後の国際情勢について、次時の予告をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央区（与野）の日清、日露戦争の動員兵士、戦死者の数も伝える。 増税により、国民の生活を圧迫していたこと、アメリカなどからの借金をかかえ、戦争継続が無理になった事を知らせる。 石川さんの日記の具体的事象から、「兵士達の思い、戦争の経過」をしっかりと押さえることができる。（理解・判断） 本時のテーマに対し、多角的に考察し、自分の言葉でまとめることができる。（表現・思考） 	<p>教科書 資料集</p> <p>【映像】 日比谷公園 ポーツマス条約のテール など</p> <p>【映像】 日露戦争碑</p>
------------	---	--	---

資料

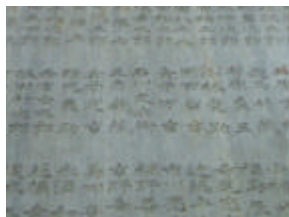
(3) 訪問先及び資料の入手先

さいたま市立博物館、鈴谷天神社・下落合笠間氷川神社・与野公園（中央区）、日比谷公園、乃木希典邸跡（乃木神社）、明治村（愛知県） など

<中央区（与野）日清・日露戦争関連史跡>



与野公園、日清・日露戦役碑



石川九兵衛さんの
名がある



鈴谷天神社

日露凱旋記念碑



下落合氷川神社

日清戦争紀功奉納石灯籠

<日露戦争関連>



乃木希典邸跡



旅順の戦いで使われた
大砲の弾



ポーツマス条約で
使われたテーブル



日比谷焼き討ち事件で
焼かれた木と松本楼

明治時代（明治期の労働・社会運動）の学習

(1) 学習のねらい

明治政府に押さえつけられていた国民が、徐々に団結して立ち上がり、権利を要求していく様子が理解できる。

明治期の労働・社会運動が身近な地域（さいたま市周辺）でも起こっていた事を知り、身近な問題として考えさせると共に、地域の歴史から全体の通史を見る視点を育む。

国家の利益のために犠牲を強いられた先人達の歩みをもとに、現在の労働問題、環境問題を考える。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 評価	資料
導入	<ul style="list-style-type: none"> 大宮の多聞院にある、少女の墓、墓石に刻まれた文字を見て、わかることを発表する。 → 出身、年齢など ※ 『なぜ、石川県出身の少女の墓がさいたま市にあるのか？』 予想をノートに書き、班で話し合い、発表する。 出てきた地名は、その場で地図で確認する。 本時のテーマに対する予想を、各自たてる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒にテンポ良く発表させる。 「石川県出身の少女の墓」をキーワードとし、授業をふくらませていく。 積極的に予想をたて、それを検証しようという、意欲的な学習態度が見られるか。 (意欲・態度) 	<ul style="list-style-type: none"> 【映像】少女の墓 【資料】墓石の文字 【地図】さいたま市
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>明治時代の労働問題・社会問題を考える！</p> <p>～ 当時の人々は、どんな問題をかかえ、どんな苦勞をしていたのか～</p> </div>			
展開	<ul style="list-style-type: none"> さいたま市の工場の様子を資料をもとに確認する。 春岡村の織物業（コールテン工場） → 女工の様子 逃げた女工が新聞社に語った話 大宮の山丸製糸工場 → 女工が働かざるをえない理由 ※ 『なぜ女工達はこんな苦しい生活が続いたのか？』 政府の政策 農村の現状 の2点から資料を使って調べ、班で話し合い、発表する。 【考察1】 政府の政策 ...殖産興業、富国強兵 安く糸、織物をつくり、輸出しもうける 軍需産業にお金をまわす、など国益を第一に考える 【考察2】 農村の現状... 非常に困窮した状態。借金を娘の労働によって返す。女工は家族のために働く。 全国の工場の様子について、教科書、資料集で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各自でたてた予想が正しいかどうか、さいたま市の資料を中心に使って、検証する授業を展開する。授業に明確な目的を持たせる。 課題を解決するための資料を提示し、読みとらせる。 班の話し合いはルールに従って、班長中心に行わせる。 女工、労働者の生活が、さいたま市だけでなく、全国でも同じような状況であったことに気付かせる。 大宮製糸、与野大木製糸など、女工に夜、学校に通わせ 	<ul style="list-style-type: none"> 【映像】 【資料】織物業製糸工場

<p>発 『この状況のままで良いのか?』当時の女工、労働者の立場にたち、解決策を各自ノートに書き、班で話し合い発表する。</p> <p>・立ち上がった人達とその様子、結果を資料をもとに見ていく。→ 労働運動</p> <p>・近代化の犠牲のもう一例「足尾銅山鉍毒事件」を学ぶ。</p> <p>・「稲の立ち枯れ、渡良瀬川流域地図、田中正造 生家」など、映像から鉍毒事件の概要を知る。</p> <p>・渡良瀬川流域の農民の想い、政府の考えをそれぞれノートに書き、班で話し合う。</p> <p>ま と め</p> <p>・『人々はどんな思いだったのか? 明治政府に対して意見を述べよう!』→ 本時の学習をふまえ、製糸工場の女工と、渡良瀬川流域の農民代表、田中正造の吹き出しに思いを書き込んでいく。</p> <p>・年表で、時代背景を確認する。</p> <p>授業後、クラスメイトの吹き出しを見て、さらに理解を深める。</p>	<p>るなど女工を大事に扱っていた工場も多くあったことも知らせる。</p> <p>国家繁栄の犠牲になりながら近代日本の礎を着々と築きあげてきた、先人の思いを理解し、先人の立場に立って考えることができたか。</p> <p>(理解・思考)</p> <p>・「殖産興業」という時代背景をふまえ、多面的に考えさせる。</p> <p>本時のテーマをふまえ、様々な視点から多面的に考察でき、自分の言葉で考えを書くことができたか。(思考・表現)</p> <p>・吹き出しは廊下に掲示し、クラスメイトの考えがわかるようにする。</p>	<p>教科書 資料集</p> <p>【映像】 足尾銅山 田中正造関連</p> <p>吹き出しのプリント</p>
--	---	---

資料

(3) 訪問先及び資料の入手先 さいたま市立博物館、多聞院(見沼区) 山丸製糸工場跡(大宮区) 与野大木製糸工場跡、佐野郷土博物館、足尾銅山跡、田中正造生家など

<さいたま市>

多聞院とお墓



山丸製糸工場跡



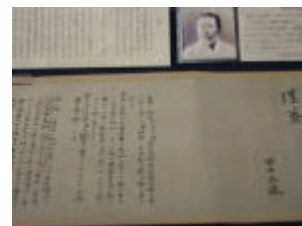
与野大木製糸工場跡

足尾鉍毒事件(田中正造関係)

田中正造生家



正造の像



足尾鉍毒問題に対する、謹奏文



足尾鉍毒被害地図